

3.H30年度活動成果報告（2）実環境(お台場地区)検証速報

②実環境（お台場地区）検証【定性的】（分析中のため、速報）

②通知サービスに対する意識調査（つづき）

✓サービスそのものの受容性（ヒアリングより）

- ・雨天時、夜間、自転車に乗るときなどが特に有効ではないか。
- ・自転車-車間のサービスとしても良いのでは。
- ・初めて訪れる場所で使えるとよい。観光向け等も期待値。
- ・子供や自分の両親に持たせたい。（成人意見）

★各世代の意見も確認できた（集計作業中）

✓購入意欲（ヒアリングより）

- ・単体であれば1万円以下。または保険やケータイサービスなどとセットで実装されたら良い。
- ・月額300円程度のアプリなら可能性。・児童には防犯ブザーやキッズケータイの機能として持たせられるとよい。

✓保護者のコメント（ヒアリングより）

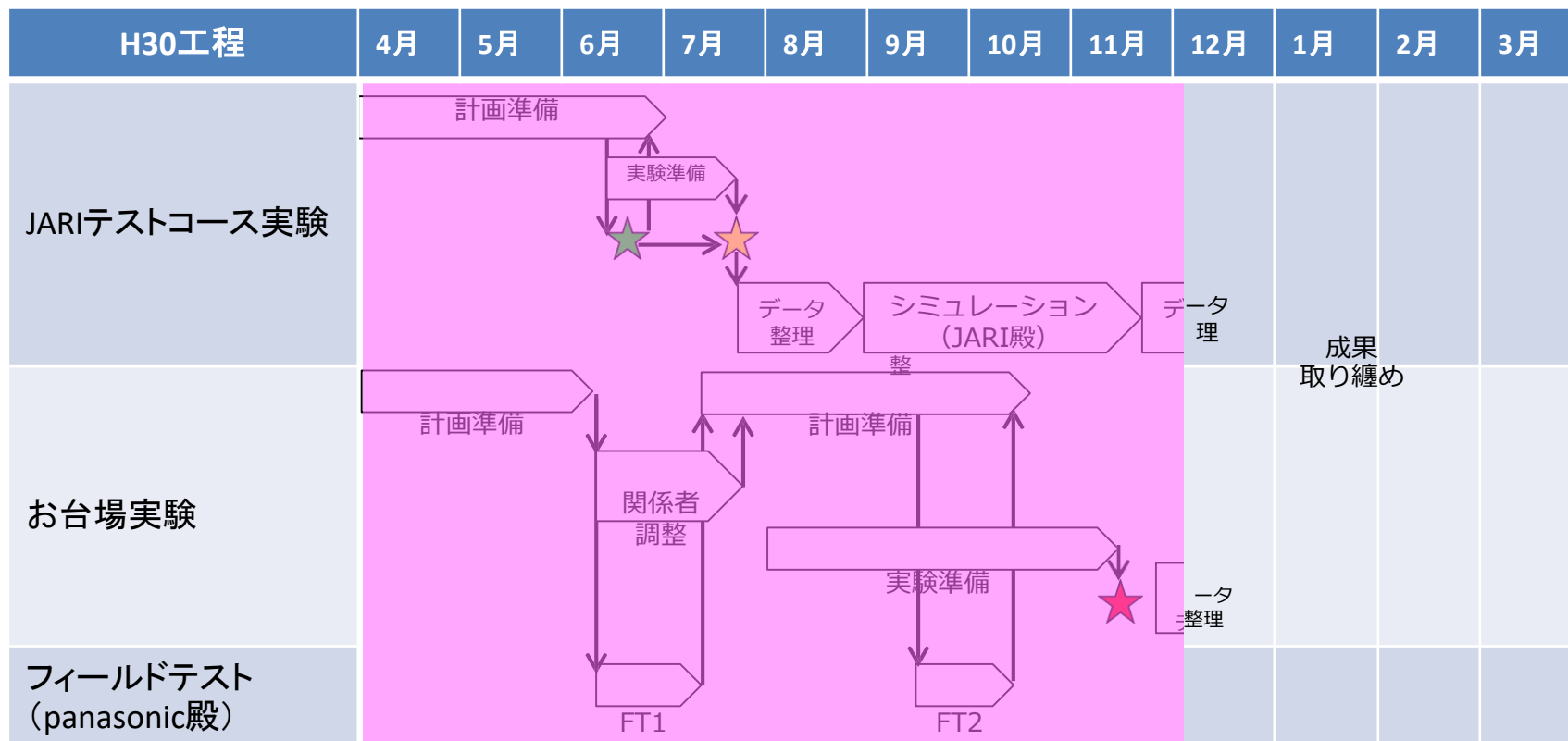
- ・男の子は効果がないと心配（すぐに夢中になるので聞こえない）
- ・音声より電子音が良いかもしれない。母親の声で発報できるとよい。

2）総合分析（テストコース、公道実証の結果を最終的に取りまとめる）

交通死亡事故の半数を占める歩行者事故の低減に向け、2月までに
考察を取りまとめる予定

4.スケジュール

■全体工程（案）



- ★ 6月22日：JARIテストコース 内検・予備実験（関係者限りの実験）【済】
↓（Panasonic殿によるフィールドテスト1）
- ★ 7月20日～22日：テストコースによる検証（モニタ実験）【済】
↓（Panasonic殿によるフィールドテスト2）
- ★ 11月12日～17日：お台場公道による検証（モニタ実験）【済】

～2月までに分析・取り纏め 予定

(参考資料) 実験機材

被験者・使用機材

【歩行者：歩行者端末：20セット】

「危機判定アプリ」を実装したスマートフォン

- ・自端末の位置情報と他端末（車載器等）の位置情報を把握し、衝突予測ポイントを算出、危険レベルに応じて、段階的にアラートを通知する
- ・リュックサックに抱えて実験

【運転手：車載器端末：5セット】

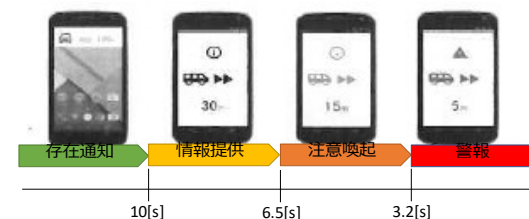
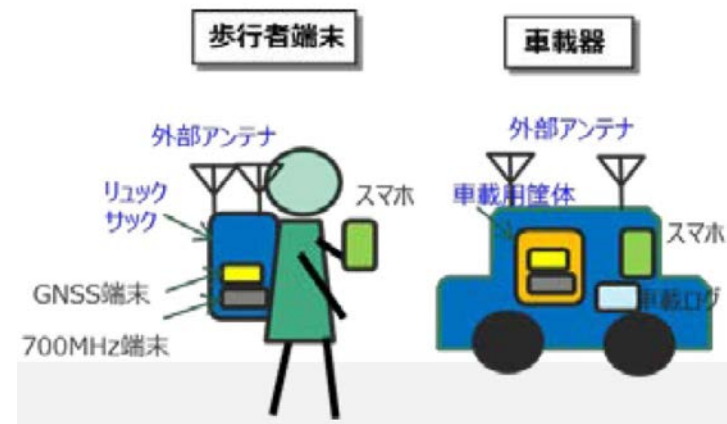
「危機判定アプリ」を実装したスマートフォン

- ・ITSアンテナ、GNSSアンテナ等を設置
- ・シガーソケット経由で電源を供給する。
- ・車両の挙動を把握するため、CANデータ取得とともに、動画を撮影する。



車載器の仕様の関係から、車両は「3代目プリウス（XW30）2010－2015」とする。

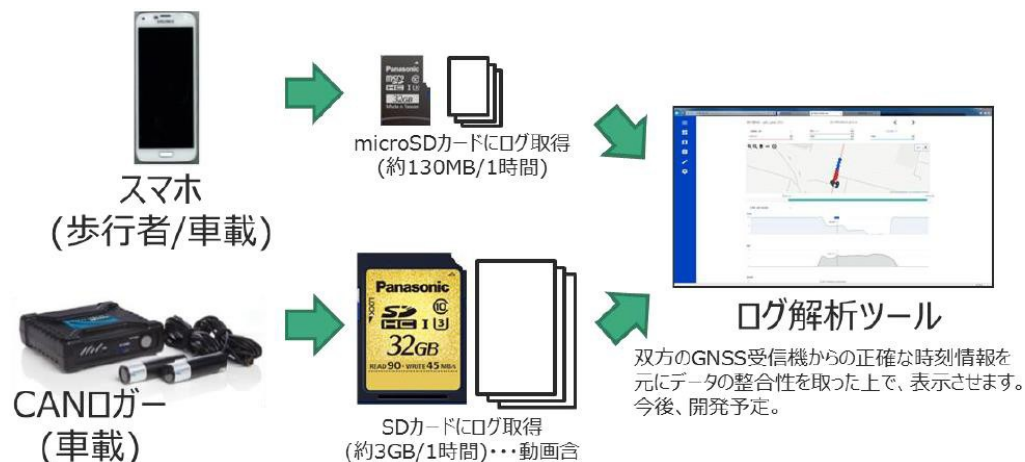
➡当該車両が確保不可時は別車両で代替



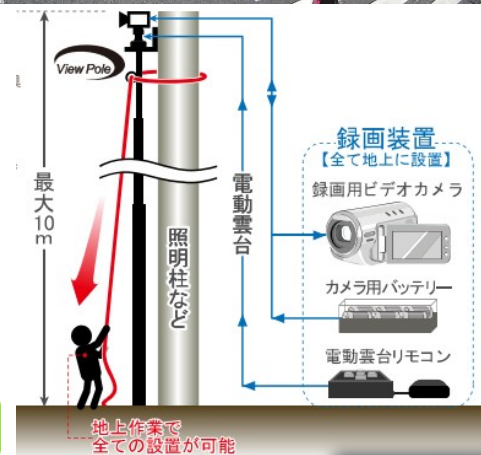
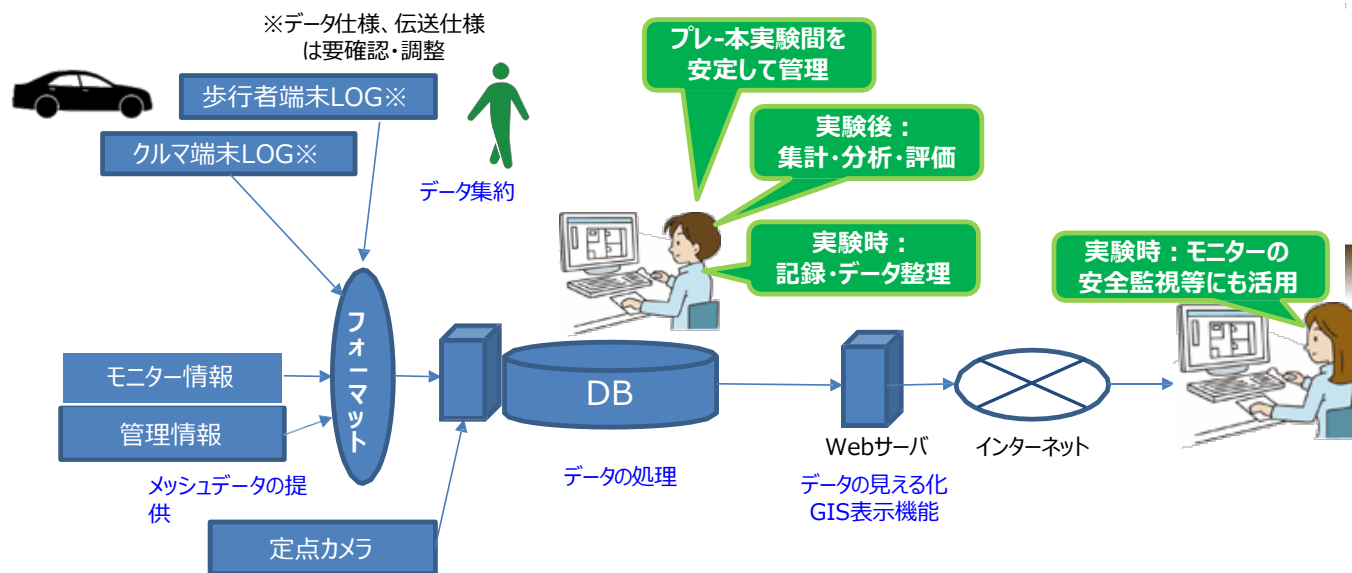
(参考資料) 評価を援ける技術・システム

検証システム・機器

【ログ解析ツール】



【定点カメラ】



※一部自立型の
カメラによる調
査も実施

